



第16回給食部門全国交流集会開催

9月5日(木)13:30から9月6日12:00にかけて三重県伊勢市で、第16回給食部門全国交流集会を開催し、10単組本部含め16名が参加し、全国から管理栄養士や調理師が集まりました。

今回の集会では、新しくなった伊勢赤十字病院の施設見学を行い、その後各単組の現状や取り組み報告等、交流を行いました。また給食対策ニュースの発行や、情報交換の方法等も話し合い、次回交流集会を2月に実施することを決めました。

各単組からの報告

福島

二人雇ったが、業務が進んでいないので、他の職員にしわ寄せが来ている。

富山

パワハラで退職が2人出た。元々欠員1だったので、来年3人採用する。団交でも追及し改善を要求。

京二

昨年からパートが来て組合に入った。出来るだけ正職にしたい。有給休暇が取りにくい現状。

伊勢

病院が新しくなり、調理場が狭くなった。正職5人のなか一日3人で勤務を回してる。休みの希望がしにくい。

庄原

委託から嘱託になった人が、時給から月給になったが給与が安い。病院は、応募して来た人を手当たり次第採用するが時間や労働日等条件付きなので、居て欲しい時間帯に人が少ない。他の人が負担増になっている。

松江

新病院になってから3人退職した。サテライトの直接調理師は業務が再加熱と盛り付け等で、調理が出来ていなくモチベーションが下がっている。

唐津

正職3人で回していて土日など3人とも休むようにしてきたことに対し、病院側からクレームがきたが、これは病院側の要請により正職と請負が混在する事態を避けるためにしてきたことであり、団交で明らかにし誤解を解いた。

長崎

下請けの人員確保がうまくいかず、下請けは洗浄など一部になった。職員と下請けが混在しているため、業務の効率が悪い。

沖縄

前は休みが全然取れなかったが、新しい課長の指導で、以前よりは改善された。



次回交流会について

全日赤 第17回給食部門全国交流集会

日時・・・2013年2月12日(水)13:30～13日(木)12:00

場所・・・東京都：日本医療労働会館2階会議室

現在交流集会の内容については、映画「モンサントの不自然な食べもの」の上映や、クックチル、ニュークックチル、クックサーブ等のメリットデメリット学習等が案としてあがっております。各単組の皆さん希望や提案があれば、本部までお知らせください。

本部 TEL 03-3876-2186 担当河野、山口(銀)